

報道関係各位

2020年2月18日
OYO TECHNOLOGY&HOSPITALITY JAPAN
株式会社 OYO Hotels Japan 合同会社

OYO Hotels & Homes が前年比 4.5 倍の収益成長を発表 19 年度に 9 億 5,100 万米ドルの収益増 インド国内の単体損失は 18 年度の 24%から 19 年度は 14%に改善

- 2019 年度*の連結収益は 9 億 5,100 万米ドル、インドの収益は 6 億 400 万米ドル
- インドは総収益の 63.5%に貢献、グローバル市場は総収益の 36.5%
- 業務効率の向上により、インドの純損失を収益の 24%から 14%に削減
- グローバルな拡大路線を背景に、年度末の中国市場参入が特に影響し、連結損失は 2018 年度の 25%から 2019 年度の 35%に増加

2020年2月17日(現地時間)にインドで発表したプレスリリースの抄訳です。

2020年2月17日、ニューデリー：世界有数のホスピタリティー・ブランドである OYO Hotels & Homes は本日、2019 年度（*2018年4月から2019年3月）の業績を発表しました。決算報告によると、同社の連結収益は 9 億 5,100 万米ドルで、2 億 1,100 万米ドルの収益を計上した 2018 年度から 4.5 倍（前年比）増加しました。

創業 6 年目のスタートアップ企業である OYO の各市場におけるビジネスは、3 つの重要な成長段階を経て進化しています。成長の第 3 段階にあるインドのような成熟市場では、確立されたブランドを維持しつつ、加速的な成長・卓越したオペレーション・強固な売上総利益の確保・収益性への明確な道を確保することなどに注力しています。成長の第 2 段階にあり、規模とプレゼンスの確立を達成している中国のような市場では、加速的な成長のために引き続き投資しながら、OYO がもたらす価値やブランドの市場への浸透を計りながら、売上総利益を改善させることに焦点を当てています。米国や日本などのように、参入して 1 年未満の市場では、規模の拡大とプレゼンスの確立に取り組んでいます。

収入 (2019 年度)

インド 6 億 400 万米ドル

グローバル 9 億 5100 万米ドル

グローバルでの成長

2019年1~12月:前年比 3 倍

100 万室

2019 年度: 前年比 4.5 倍

このような歩みの結果、19 年度にはインドでの事業が連結収益の約 63.5%となる 6 億 400 万米ドルに到達し、その成長は前年比 2.9 倍になりました。OYO 全体の約 36.5%となる 3 億 4,800 万米ドルの連結収益は、インド以外の、主に中国を中心とした事業によるものです。これは、業務効率の向上によって大規模で持続的なグローバルビジネスを構築していく、という私たちの強いコミットメントの結果です。

同社は世界全体で、宿泊者数および、ホテル軒数、ホテルのオーナーやパートナーの数が増加していることを発表しました。2019年1月から12月までに、OYOでは43,000名を超えるホテルのオーナー、パートナーの皆様と共に、120を超える国の1億8,000万人以上のお客様を宿泊ゲストとしてお迎えしました。

2019年度、OYOは中国とインドで特に存在感を示しました。人材、市場参入、オペレーション関連費用などの新しい市場を確立するための固有費用により、OYOの短期的な純損失率は18年度の収益の25%から、19年度には35%の3億3,500万米ドルに増加しました。同時に、インドのような成熟市場では、損失が収益の24%から、19年度は14%となる8,300万米ドルに減少しました。

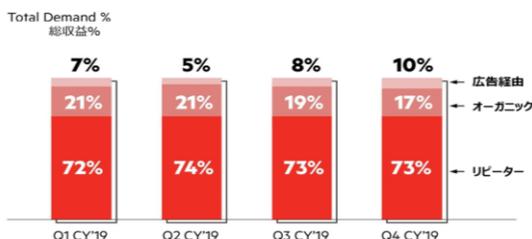
OYO Hotels & HomesのグローバルCFOであるAbhishek Gupta (アヴィシエク・グプタ)は、2019年度の成長について次のようにコメントしています。「2019年度には、世界全体で9億5,100万米ドルの収益を実現するという重要なマイルストーンを達成しました。これは、前年比で4.5倍の増加です。全てのOYO社員の努力とねばり強さに支えられ、卓越した顧客体験の提供、ホテルのオーナーやパートナーの皆様への価値提供、継続的な技術革新にOYOが注力したことは、この業績の背後にあるプロペラとなっています。2020年以降も財務実績の継続的な改善、強力かつ持続的な成長、卓越したオペレーションとサービス、そして収益性の明確な道の確保に向けて努力してまいります。当社のコーポレートガバナンスと高いパフォーマンスへの注力、そして社員ファーストな職場文化の構築が、持続的な成長を可能とする、次の段階へとOYOを推進する鍵となると考えております。今後も、OYOが世界中の旅行者やホテルオーナー、パートナーの皆様が付加価値の高い体験を提供できることを楽しみにしています。」

インドは、継続的な成長を維持しながら高い収益性に向かって進んでいる規模の大きな市場です。OYO Hotels & Homesは、2020年以降も持続可能な成長、優れたオペレーション、収益性に焦点を当てていきます。

2019年、OYOは引き続きロイヤルゲスト層の構築に注力しました。リピーターおよびオーガニック（自然検索）ユーザーが収益の90%以上を占め、リピーターのみだけで収益の73%に貢献しました。

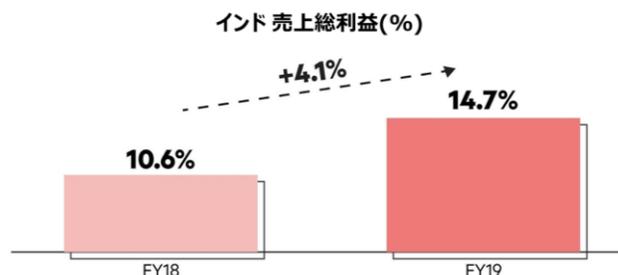
その間、**中国およびその他のグローバル市場は開発および投資段階**であったため、19年度の損失の75%（2億5,200万米ドル）を占めました。これらの市場は**グローバル収益の36.5%を占めています**。既に売上総利益率が改善しているインドのような成熟市場で一貫して収益性を改善する一方で、当社は来年度、拡大中の市場でも同じ財政規律を導入を決定しています。

インドではリピーターおよびオーガニックユーザーが収益の90%に貢献

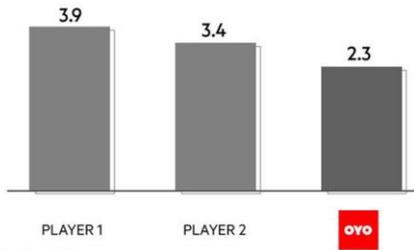


インパクトのある持続的な成長

インドでの当社の売上総利益率は、18年度の10.6%から19年度は14.7%に増加しており、ビジネスモデルの強さ、そして市場シェアと経済の相関関係を示しています。



OYOアプリがホテル予約アプリで世界第3位に
(2019年10月 月次ダウンロード数、単位：百万)



Source: App Annie Industry Insights
Playstore and IOS app downloads globally, excluding China

OYO アプリは世界第3位のホテル予約アプリに成長しました。ダウンロード数は2019年10月までに230万件、現在は既に1,000万ダウンロードを超えています。

OYO はお客様のニーズに沿ったサービスを提供することで、OTA (Online Travel Agency) プラットフォームの平均評価では10点中7.5点以上を獲得しています。

OYO Hotels and Homes について

2013年に設立されたOYO Hotels & Homesは、世界第2位のホテルチェーンで、ホテルや住宅、ワーキングスペースなどの事業を展開しています。35,000を超えるホテルと100万室以上の部屋を管理運営しており、125,000以上のバケーション・ホームも世界のゲストに提供しています。バケーション・ホームのカテゴリーでは、OYO Homes、Belvilla、Danland、Dancenter、そしてドイツのTraum-Ferienwohnungenの施設を、日本、アメリカ、ヨーロッパ、イギリス、インド、マレーシア、中東、インドネシア、フィリピンなど世界80カ国の800以上の都市で展開しています。詳しくは、<https://www.oyorooms.com/>をご覧ください。

OYO Hotels Japan 予約サイト : <https://www.oyohotels.co.jp/>